

<マニュアル訂正連絡票>

ASP DRMS 説明書 V16

[J2K0-0376-02]

2007年12月21日発行

修正箇所(章節項): 付録D メッセージ

旧記事

195E	発信に失敗した ERROR IN DTS
------	-------------------------

補足情報

:DTS 復帰コード

意味

:DTS に対するデータの送信に失敗した.

利用者処置

:“ASP メールサービス説明書”に従って, 処置を行う.

新記事

195E	発信に失敗した ERROR IN DTS
------	-------------------------

補足情報

:DTS 復帰コード

意味

:DTS に対するデータの送信に失敗した.

利用者処置

:EMIE 記述を調査する.

2006年12月20日発行

修正箇所(章節項): はじめに

旧記事

前版の主な追加/変更点は以下のとおりです.

- ・ システム修正データに使用可能な媒体の変更(CD-ROM の削除)
- ・ V18 以降のシステムでの定期システム修正データ未サポートの記事の追加

新記事

前版からの主な追加/変更点は以下のとおりです.

- ・ V22 以前のシステムでのシステム修正データの移入機能に CD-ROM 媒体が使用不可の旨の記事を変更(CD-ROM

媒体の削除)

- ・ V18 以降のシステムでの定期システム修正データ未サポートの記事を追加
- ・ V23 以降のシステムでの緊急システム修正データの移入機能に使用可能な媒体として CD-ROM 媒体をサポートした旨の記事を追加

修正箇所 (章節項): 1.3 DRMS で扱う用語

旧記事

- 5) システム修正データ
- 当社が提供するソフトウェア製品に対する修正データであり, これには一括修正データと緊急修正データがある. 提供媒体として, K シリーズに移入するための FPD 及び MO の形式がある.
- ・ 一括修正データ(PTF: PROGRAM TEMPORARY FIX)
K シリーズでは複数のソフトウェアの障害修正, 制限解除又は機能追加を目的として発行する修正データであり, 定期修正データとも呼ぶ. 定期修正レベルは「Uxxxxx」又は「Hxxxxx」の形式となっている.
 - ・ 緊急修正データ(PUF: PROGRAM URGENT FIX)
重大障害の早期修正やユーザ個別の修正(個別修正)を行うためのものである. それぞれの目的によって緊急修正又は個別修正と呼ぶ.

新記事

- 5) システム修正データ
- 当社が提供するソフトウェア製品に対する修正データであり, これには**定期システム修正データと緊急システム修正データがある**. 提供媒体として, **FPD, MO 及び CD-ROM の形式がある**.
- ・ **定期システム修正データ**(PTF: PROGRAM TEMPORARY FIX)
K シリーズでは複数のソフトウェアの障害修正, 制限解除又は機能追加を目的として発行する修正データであり, **一括修正データとも呼ぶ**. 定期修正レベルは「**Uxxxxx**」の形式となっている.
 - ・ **緊急システム修正データ**(PUF: PROGRAM URGENT FIX)
重大障害の早期修正(応急修正)やユーザ個別の修正(固有修正)を行うためのものである.

修正箇所 (章節項): 1.4.2 システム修正データの管理方法

旧記事

K シリーズでのシステム修正データの管理関係を図 1.2 及び図 1.3 で示す. E93 から従来の FPD ディスク(ZAP 形式)に加えて, MO(K 固有形式)がある.

新記事

システム修正データの管理関係を図 1.2 及び図 1.3 で示す.

修正箇所 (章節項): 2.6.1 移入方法

旧記事

システム修正データの提供媒体として, SIP メニューから修正を反映するための FPD 及び MO がある.
K シリーズの DRMS 操作ビューによって図 2.13 に示すように, FPD 又は MO からシステム修正データを取り込む.

新記事

K シリーズの DRMS 操作ビューによって図 2.13 に示すように提供媒体からシステム修正データを取り込む.

表 2.6 システム修正データの移入対応表

	種別	移入局 エディション/バージョン								
		E92	E93, E94	E95~E98	V10, V11	V12	V13~V15	V16~V17	V18~	
適用局のエディション/バージョン	E92	定期	○	○	○	○	○	○	○	×
		固有 応急	○	○	○	○	○	○	○	○
	E93, E94	定期 U 番	×	○	○	○	○	○	○	×
		H 番	×	○	○	○	○	○	○	×
		固有 応急	×	○	○	○	○	○	○	○
	E95 ~E98	定期	×	×	○	○	○	○	○	×
		固有 応急	×	×	○	○	○	○	○	○
	V10, V11	定期	×	×	×	○	○	○	○	×
		固有 応急	×	×	×	○	○	○	○	○
	V12	定期	×	×	×	×	×	×	×	×
		固有 応急	×	×	×	×	○	○	○	○
	V13 ~V15	定期	×	×	×	×	×	○	○	×
		固有 応急	×	×	×	×	×	○	○	○
	V16 ~V17	定期	×	×	×	×	×	×	○	×
		固有 応急	×	×	×	×	×	×	○	○
	V18~	定期	×	×	×	×	×	×	×	×
		固有 応急	×	×	×	×	×	×	×	○

○ : 取り扱い可能

× : 取り扱い不可能

表 2.6 システム修正データの移入対応表

	種別	移入局のバージョン			
		V16~V17	V18~V22	V23~	
適用局のバージョン	V10, V11	定期	○	×	×
		緊急	○	○	○
	V12	定期	×	×	×
		緊急	○	○	○
	V13 ~V15	定期	○	×	×
		緊急	○	○	○
	V16 ~V17	定期	○	×	×
		緊急	○	○	◎
	V18~	定期	×	×	×
		緊急	○	○	◎

- ◎ : 取り扱い可能(CD-ROM 媒体可)
 ○ : 取り扱い可能
 × : 取り扱い不可能

修正箇所 (章節項) : 4.4.1 システム修正データの移入

当社から提供されるシステム修正データ用 FPD, MO(K 固有形式)から, 定期又は緊急システム修正データを移入する.

(2) 操作

- 1) 初期メニューで, 「2」を入力する.
- 2) システム修正データの操作画面(図 4.29 参照)で, 修正データの移入「1」を入力する.
- 3) FPD 又は MO(K 固有形式)の装置に媒体をセットする.
- 4) 図 4.30 で, 入力装置名とコメントを入力する.
- 5) 【入力/実行】を押すと, ボリューム通し番号などの正当性のチェックを行った後実行を確認するメッセージが表示される. 移入を行う場合は【入力/実行】, 取り消す場合は【PF 9】を押す. 【入力/実行】を押した場合, システム修正データの移入が開始される. この時, 装置に媒体がセットされていない場合は, コンソールにノットレディのメッセージが通知され操作員介入待ちとなる.
- 6) 継続してシステム修正データの移入を行う場合は, 操作 2)から繰り返し行い, 終了する場合は【PF10】又は「X」を入力する(図 4.31 参照).

(3) 画面の説明(図 4.30)

a.入力装置名(必須)

媒体のセットされている装置名を英数字 8 文字で指定する. 装置として本体 FPD(FPDn), ワークステーション FPD(@WSFPD), MO が使用できる.

b.コメント(省略可)

利用者任意のコメントを、英数字 30 文字又は日本語 15 文字以内で指定する。なお、本パラメタは入力されたシステム修正データが緊急修正の場合のみ有効である。

[注意事項]

- ・ V18 以降の DRMS では、定期システム修正データの移入機能はサポートしていない。
- ・ V12 以降の FPD 媒体は未サポートとなる。
- ・ システム修正データの移入局のエディション／バージョンとシステム修正データのエディション／バージョンの関係については、表 2.6 システム修正データの移入対応表を参照されたい。
- ・ システム修正データ・移入処理は、プロフィール 'XSIP' で行うこと。
- ・ システム修正データ移入の途中で、装置から媒体をはずしてはならない。
- ・ 緊急システム修正データの場合、最大 12 個の修正データの登録が可能である。
- ・ システム修正データの適用状況は K 固有資源とは異なり適用済となり、手動適用の時、システムの反映状況により適用 PTF レベルの範囲が決まる。

新 記 事

(1) 機 能

当社から提供されるシステム修正データの提供媒体から、定期又は緊急システム修正データを移入する。

(2) 操 作

- 1) 初期メニューで、「2」を入力する。
- 2) システム修正データの操作画面(図 4.29 参照)で、修正データの移入「1」を入力する。
- 3) システム修正データの提供媒体をセットする。
- 4) 図 4.30 で、入力装置名とコメントを入力する。
- 5) 【入力／実行】を押すと、ボリューム通し番号などの正当性のチェックを行った後実行を確認するメッセージが表示される。移入を行う場合は【入力／実行】、取り消す場合は【PF 9】を押す。【入力／実行】を押した場合、システム修正データの移入が開始される。この時、装置に媒体がセットされていなければ、コンソールにノットレディのメッセージが通知され操作員介入待ちとなる。
- 6) 継続してシステム修正データの移入を行う場合は、操作 2)から繰り返し行い、終了する場合は【PF10】又は「X」を入力する(図 4.31 参照)。

(3) 画面の説明(図 4.30)

a.入力装置名(必須)

媒体のセットされている装置名を英数字 8 文字で指定する。装置としてワークステーション FPD(@WSFPD)、MO、CD-ROM、DVD-RAM 装置が使用できる。

b.コメント(省略可)

利用者任意のコメントを、英数字 30 文字又は日本語 15 文字以内で指定する。なお、本パラメタは入力されたシステム修正データが緊急修正の場合のみ有効である。

[注意事項]

- ・ V18 以降の DRMS では、定期システム修正データの移入機能はサポートしていない。
- ・ V23 以降の DRMS で CD-ROM 媒体の緊急システム修正データの移入機能をサポートする。
- ・ V12 以降の FPD 媒体は未サポートとなる。
- ・ システム修正データの移入局のエディション／バージョンとシステム修正データのエディション／バージョンの関係については、表 2.6 システム修正データの移入対応表を参照されたい。
- ・ システム修正データ・移入処理は、プロフィール 'XSIP' で行うこと。
- ・ システム修正データ移入の途中で、装置から媒体をはずしてはならない。
- ・ 緊急システム修正データの場合、最大 12 個の修正データの登録が可能である。

- ・システム修正データの適用状況は K 固有資源とは異なり適用済となり, 手動適用の時, システムの反映状況により適用 PTF レベルの範囲が決まる.

修正箇所 (章節項): 4.4.2 定期システム修正データの削除

旧記事

(1)機能

FPD 又は MO (K 固有形式) から登録された定期システム修正データを製品単位に削除する. 製品一覧画面の種別が一括の場合にのみ, この操作の対象となる.

新記事

(1)機能

定期システム修正データを製品単位に削除する. 製品一覧画面の種別が一括の場合にのみ, この操作の対象となる.

修正箇所 (章節項): 4.4.3 緊急システム修正データの削除

旧記事

(1)機能

FPD から登録された緊急システム修正データを緊急修正番号単位又は製品単位に削除する. 製品一覧画面の種別が緊急の場合にのみこの操作の対象となる.

新記事

(1)機能

緊急システム修正データを緊急修正番号単位又は製品単位に削除する. 製品一覧画面の種別が緊急の場合にのみこの操作の対象となる.

修正箇所 (章節項): 付録 D メッセージ

旧記事

192E	未サポートエディション NOT SUPPORT EDITION
------	------------------------------------

意味

: サポートしていないエディション / バージョンのシステム修正データを移入しようとした.

利用者処置

: サポートしているエディション / バージョンのシステム修正データ用 FPD / MO を装置にかけ, 実行する.

新記事

192E	未サポートエディション NOT SUPPORT EDITION
------	------------------------------------

意味

: サポートしていないエディション／バージョンのシステム修正データを移入しようとした。

利用者処置

: サポートしているエディション／バージョンのシステム修正データの提供媒体を装置にかけ、実行する。

以上